

課題

- ◆ 特別支援教育の対象となる児童生徒数の増加に伴う施設・設備等の整備
- ◆ 特別支援教育に係る国内外の動向等を踏まえた施策の充実
- ◆ 教員の専門性の向上
- ◆ 多面的な指導・支援の充実 など

市民等のニーズ・期待

- アンケート調査の実施
 - 【企業】
 - ・企業への情報発信の在り方 など
 - 【特別支援教育コーディネーター】
 - ・校内支援体制の充実・強化
 - ・教員の研修内容の充実 など
 - 【保護者】
 - ・相談窓口の明確化
 - ・教員の専門性の向上
 - ・施設・設備の整備 など
- 「北九州市特別支援教育の在り方検討会議」
 - ・関係機関同士の連携強化
 - ・早期支援の充実
 - ・障害者理解の促進 など

【プランの位置付け、趣旨及び期間】

- ・平成29年度から概ね10年後を見据えた特別支援教育の方向性を示す。
- ・課題等を改善していくためのプランを策定。

「北九州市子どもの未来をひらく教育プラン」で示した方向性や目標をより具体化。

「5つの視点」及びそれらを踏まえた取組内容

1. 一人一人に着目した連続性のある指導・支援の充実

- 合理的配慮の実践の蓄積
- 子どもが得意なことを生かす教育
- 特別支援学校における読書活動の促進
- 文化・芸術、スポーツ等に接する機会の確保
- 就労支援の充実、福祉等との連携
- 作業学習プログラムの充実 など

2. 相談支援体制の整備

- 本人・保護者の同意に基づいた検査内容や相談内容の共有
- 分かりやすい相談窓口の提示
- 就学先決定の仕組み等に関する情報提供の充実 など

3. 教員の専門性の向上、外部人材等の活用

- 教職員全体の理解促進（「チーム学校」の観点）
- 各種研修に様々な人材が参加できる体制づくり
- 地域の教育資源の組合せによる多面的な支援の充実
- 就学前期の指導・支援の充実 など

4. 障害者理解の促進

- 人権意識の向上
- 子どもたちの頑張る姿を社会にPRする機会の確保
- 市民との協働による教材・教具の作成 など

5. 施設・設備面の整備

- 施設・設備面の整備
- ICT機器等の時代に応じた教育環境の整備
- 特別支援学校の再編整備（西部地域を含む。） など

目指す方向性

互いの人格や多様性、個性の尊重
 可能性を生かす・引き出す教育
 環境の整備
 障害者理解の促進
 共生社会の形成

「わかる」・「できる」喜び
 ↓ 子どもたちの「生きる力」